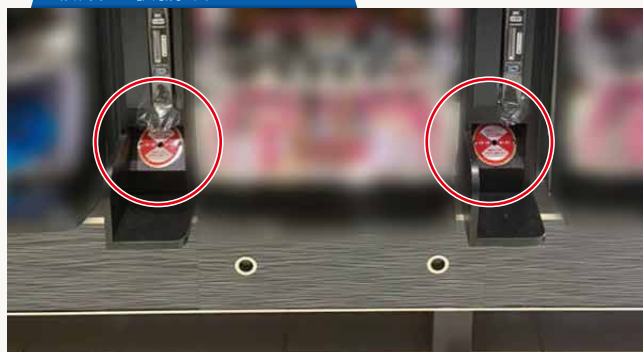


『スマートチェンジマ』の特徴と設置事例

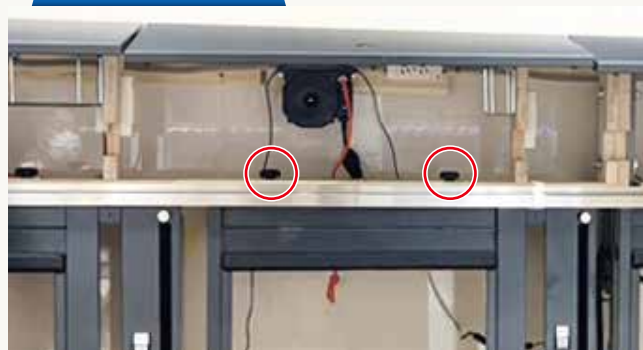
- 特長 ① 短時間での工事時間
- 特長 ② 可変式鉄骨構造
- 特長 ③ 切替作業のコスト削減
- 特長 ④ 呼出ランプや椅子を継続使用（※椅子は前後調整が必要）
- 特長 ⑤ 様々なオーダーに対応可能

吸殻回収機設置※オプション



ユニット下部を活用して吸殻回収機の設置が可能

工具不要の設置例



部材の固定が手回しネジのため工具が不要

L機設置時



台の上部に調整部材を配置

e機設置時

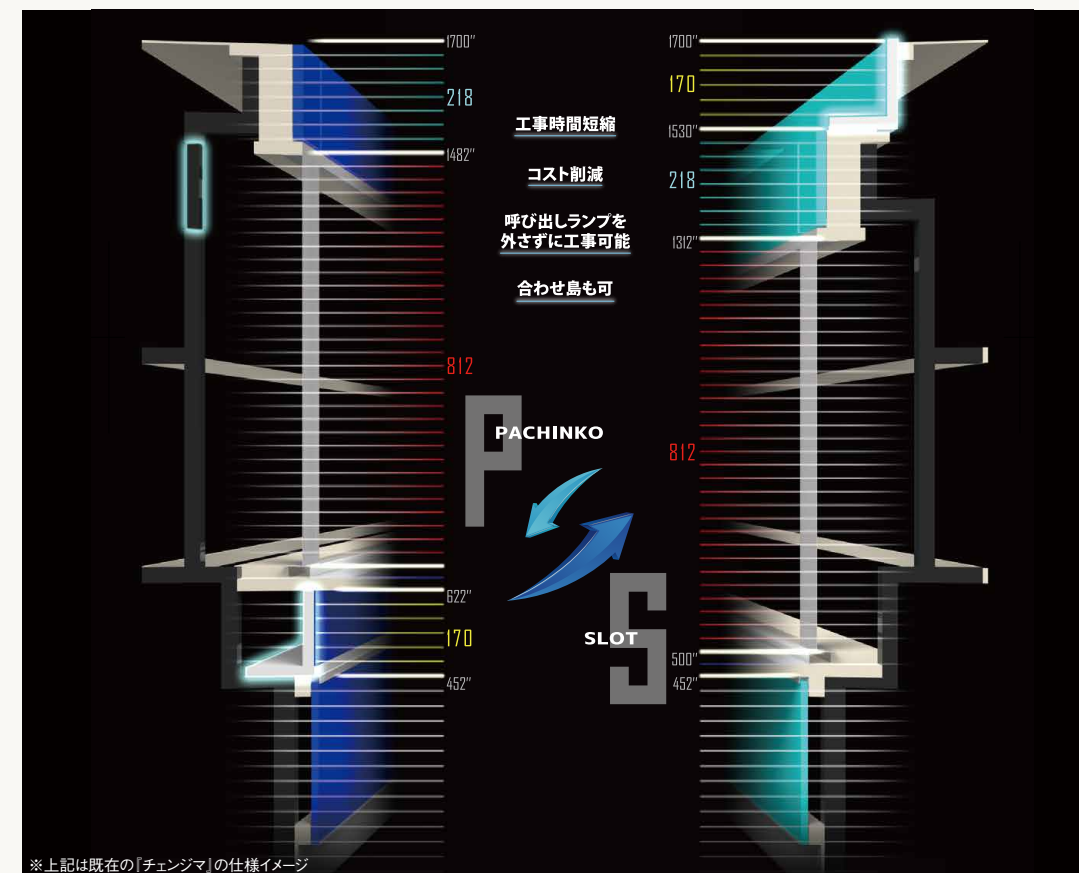


台の下部に調整部材を配置

台の高さ調整例



細かく部材を挿入して希望の台の高さを調整できる



（株）SANKYO パラー事業部
三瓶和彦 営業部長

『チェンジマ』の進化が生んだ次世代仕様

SANKYO がスマート機時代の島設備として提案するのが『スマートチェンジマ』だ。2013年に登場した『チェンジマ』をベースに進化を遂げたモデルで、スマート機に対応したシンブルな構造を実現している。

既存の『チェンジマ』は、島の建て替え不要、極限まで狭めた島幅、紙幣搬送・玉補給・メダル補給を一体化できる柔軟性、呼出ランプなどを外さずに島全

柔軟設計で広がるホールとの共創

パラー事業部の三瓶和彦営業部長は『スマートチェンジマ』についてこう強調する。

「最大の強みは、固定しない」という考え方にあります。スマート機は共通ユニットによって切り替えが容易になりましたが、

体を上下できる可変式鉄骨構造などを採用し、パチンコパチスロの転換を短時間で行える互換島として、数多くのホールで支持を得てきた。

そのノウハウを継承する『スマートチェンジマ』は、P/Sの切り替えを店舗スタッフや入替設置業者だけで完了できるほど簡素化。工事を伴わず、これまで以上に閉店後の短時間で変更可能で、工事コスト削減や作業負担の軽減につながられる。

「我々は『できません』とは言いません。どんな要望にもなんとかします」という姿勢で臨んでいます。ホール様と一緒に新しい空間をつくるのが私たちの仕事。要望を実現する中で、私たち自身も成長させてもらっています」。

スマート機の登場でP/Sの切り替えが容易になった今こそ、求められるのは、自店仕様の島設備だ。SANKYOは、オーダーメイドで最適な互換島をホールと共に創り上げていく。

オーダーメイドで応える互換島の形

時代とともに変わる島設備。SANKYOはオーダーメイドの互換島という新たな標準を提案する。

互換島導入で市場変化への対応力を向上

《ワンダーランド1188宮崎芳士店》がSANKYOの互換島『スマートチェンジマ』を導入。PS双方への即応性を整えている。

パチスロ成熟期を見据えた先行投資

日本トップクラスの集客力を誇るタイラベストビート運営の《ワンダーランド1188宮崎芳士店》は、SANKYOの互換島

『スマートチェンジマ』を採用し、将来を見据えた柔軟な営業体制を整えている。導入は120台の4島分。スマスロ中心に構成する現行レイアウトの中で、今後の市場変化に即応できる設備として期待を寄せている。

同社営業部の長野浩樹エ

リア長は、「パチスロ市場の成熟を前提に、今後パチンコへの揺り戻しの可能性があると考えました」と導入の経緯を語る。

加えて宮崎県はパチンコファンの比率が高く、特にシニア層の支持が厚い市場だ。長野エリア長は「地域特性として海物語シリーズ



パチンコ島との端境に4島分設けられた互換島の「スマートチェンジマ」。



膳板の代わりとなる物置きをカスタマイズした。

などで長年の固定ファンが多く、安定稼働を形成しています」と分析。と同時に、スマスロ人気の波が一時と比べ落ち着きを見せつつあることから、次の局面に備えた布石としても、『スマートチェンジマ』の導入は意義があるという。

島のカスタマイズは遊技客への気配りに

実際、P⇄S転換が容易な『スマートチェンジマ』は、環境の変化に備える「保険」であり、設備投資としても合理的だった。

さらに通常のPS互換工事では、数日要するが、『スマートチェンジマ』なら1台あたり5分程度で完了。閉店後作業で、簡単にP⇄S転換できる点も魅力となった。また呼び出しランプを外さずに工事対応でき、合わせ島も可能。導入する設備に応じて最小限の島

幅を提案する。ホールの細かいカスタマイズにも対応。同店では膳板の代わりに、ちよつとした物置を配置し、遊技客への気配りを形にした。もちろん、日常的な入替え作業も「通常通りで全く問題ないです」(同)と使い勝手の良さに太鼓判を押す。

今後について長野エリア長は、「おかげさまで当初の想定を上回る成果が出ています。これからも店舗のメッセージ性を大切に、地域の皆さまに愛される店づくりを進めていきたいですね」と熱意を燃やしている。



《ワンダーランド1188宮崎芳士店》
宮崎県宮崎市大字芳士736
総台数:1,321台(P640台、S681台)

柔軟な構造設計で現場の要望にも対応

《コンサートホールエフ成増》が導入した『スマートチェンジマ』。柔軟な構造と快適な環境で店舗と遊技客の満足度を高めている。

東日本の1都5県にチェーン展開する(株)コンチェルトの旗艦店《コンサートホールエフ成増》は、都心の駅前店舗ながらワンフロア904台を擁する大型店舗。島の一部にSANKYOの互換島『スマートチェンジマ』(1

20台分)を採用している。導入の理由について同店の小宮元樹営業係長は「パチンコ、パチスロのどちらの市場が伸びても柔軟に対応できるよう、先を見据えた選択です」と語る。簡単にP機⇄S機を切り替え



緩やかな曲線島を形成する『スマートチェンジマ』。



収納棚を台の上部とユニット下に配置している。



株式会社コンチェルト
小宮元樹営業係長

ユニットや紙幣搬送、買い物客にも配慮

同店の『スマートチェンジマ』には現在、主力のスマスロ機を中心に設置している。

「島全体の見た目は通常のパチスロ島と見分けがつかない自然な仕上がります。違う点はスマート機専用ユニットを左側に配置している点ですが、全く違和感がなく、普段通りの島として機能しています」。

スマスロの左側へのユニット設置は、スマパチへの切り替えを想定したもの。紙幣搬送の位置もスマパチに対応できるように少し高めに設置し、それに合わせてユニットや分煙ボードの高

さも調整した。さらに、MEGADON・キホーテと複合する同店では、買い物客に配慮して遊技台の上部とユニットの下部に収納棚の設置を希望したところ、こうした要望にもSANKYOでは丁寧に対応した。

「パーソナルスペースがしっかり確保できる形となり、お客様にも好評です」。



《コンサートホールエフ成増》
東京都板橋区成増2-21-2
MEGADON・キホーテ成増店B1F
総台数:904台(P459台、S445台)